

## 背景

- ・小中学校・高等学校で通級による指導を受ける生徒数が増加している。(H30:879名 → R5:1,336名)
- ・高等学校の通級による指導は、定時制3校(伊勢まなび高等学校、みえ夢学園高等学校、北星高等学校)において自校通級を実施している。
- ・発達障がいの可能性ある児童生徒への指導・支援に係る教員の専門性の向上など、適切な指導と必要な支援を行うことができる支援体制の構築の必要性

## 目的

- ・高等学校における巡回指導の実施
- ・高等学校における巡回指導を効果的に進めるための校内支援体制の整備および理解啓発
- ・通級による指導担当教員の専門性向上のための研修等の機会の充実および通級による指導等の担当教員に係るサポート体制の構築

## 三重大学

**上級** (10年以上)  
(経験豊富な指導的立場の教員)

## 発達障がい支援センター

## 養成研修【15講座】

【対象】指導的立場の通級による指導担当教員、特別支援学校コーディネーター等  
【内容】・認知行動療法、医療との連携 等

**中級** (3年~10年)  
(中堅の教員)

## 発達障がい実践研修【12講座】

【対象】通級による指導担当、高等学校、特別支援学校の教員等の中堅の教員  
【内容】・コミュニケーション障がい、学習障がいの理解 等

**初級** (0年~2年)  
(経験の浅い教員)

## 発達障がい専門研修【4講座】

【対象】通級による指導担当、高等学校、特別支援学校の教員等の初任者の教員  
【内容】・通級指導教室の基礎・基本、校内体制の整備 等

ネットDE研修収録教材の活用【4本視聴】  
【対象】特別支援学級および通級による指導を初めて担当する教員  
【内容】特別支援教育基礎講座 等

## 県教育委員会

- 具体的な計画の策定と運営
- 有識者等の運営協議会の設置
- 大学・学校関係者、医療・福祉関係者との連絡調整
- 発達障がい支援員との情報交換会の実施

## 各市町教育委員会

## 各エリアの支援体制

発達障がいエリア研修【5地域・各2回】  
【主催】県内5地域の特別支援学校  
【対象】通級による指導担当教員、高等学校、特別支援学校の教員等  
【内容】

- ・各エリアの発達障がいに係る支援体制の整備
- ・通級による指導担当教員と特別支援学校コーディネーターの情報共有

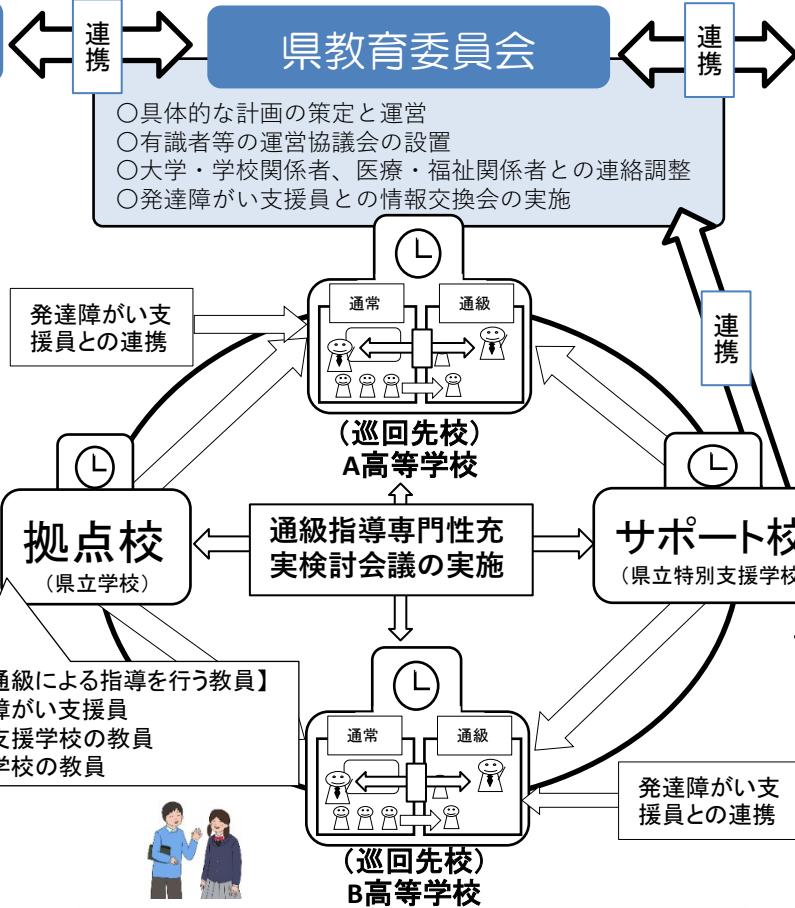
## 発達障がい支援センターの活用

地域における発達障がい支援に係る指導的立場となる教員が研修で得た知識、受講者同士のネットワークを生かし発達障がい支援の中核的な役割として、経験の浅い教員への相談・助言の体制をつくる。

## かがやき特別支援学校

## 医療と連携した研修

発達障がい支援研修【2講座】  
【主催】県立かがやき特別支援学校  
【対象】通級による指導担当教員、高等学校、特別支援学校の教員  
【内容】・(研修会)県立子ども心身発達医療センター医師等による指導・助言  
・(実践報告会)医療機関と連携したかがやき特別支援学校の実践



## 高等学校での巡回通級による指導の校内体制の構築

- 学校全体での特別支援教育の推進
- 通常の学級と通級指導教室との連携強化
- 教職員への理解啓発